



THE ONE MAKE RACE FESTIVAL 2015 FUJI

AUTUMN 26-27.September.2015



Inter Photo Series

REVIEW

NISSAN GT-R Prestige Cup

Round 3



全4戦で行われるこのカテゴリーは開幕は富士SW、第2戦がSUGOで行われ今回の第3戦はまた富士に戻ってきた。予選トップタイムはポイントリーダーの23 スリーウィズGT-R 前川佳紀 2'00.721。20 ASA Prestige GT-R TT田中哲也が2'00.991が続くが、賞典外なので最後尾からのスタート。予選時はウェットコンディションだったが、決勝スタート時には雲の合間から太陽も顔を出す天候になってきた。スタートでは2番手グリッドの7 D'station GT-R 星野辰也がトップを押さえたかのように見えたが、23前川が守りきりオープニングラップを戻ってくる。レース中盤になると23前川は徐々に引き離しにかかるが、最後尾から上がってきた20田中も加わり2番手争いが最後まで続く。10周のレースは23前川、7星野、34 air-j GT-R 内田康之の順でチェッカーを受けた。「3周くらいまでヒヤヒヤでしたが田中哲也さんが後ろとバトルしてくれたおかげで勝つことができました」と話していた

RESULT リザルト GT-R Prestige Cup

Rank	No.	Name
1	23	前川 佳紀
2	7	星野 辰也
3	34	内田 康之
4	8	岸本 裕之
5	25	富田 栄造
6	21	YUGO

2015 JAF Local Championship

F4 East Japan Series

Round 5



ツインリンクもてぎ、SUGOと転戦してきたF4東日本シリーズ。今回の第5戦ここ富士がシリーズとしては最終戦になり、この後日本一決定戦が鈴鹿サーキットで行なわれる。すでに前戦で11 牧野任祐がシリーズチャンピオンを決めている。今回の予選でトップだったのはCクラス10 FEEL・RK01・TODA 加藤智 1'54.572のタイム。フロントローには2 チームNATS・正義001 金井亮忠が1'54.831のタイムで並ぶ。決勝スタート時には、曇りの状態で路面はまだセミウェット。スタート直後から激しいトップ争いが続くが3周目には10金井がトップを奪い、15周のレースは最後までトップ争いが続いたが10金井が最初にチェッカーを受けた。A2クラスは19 Sウィンズ☆ハンマーバリュー ハンマー伊澤が優勝。10 金井は「学生と一緒に作成したマシン、ドライ路面でようやく勝てました！」と話し、19 伊澤は「F4東日本で初優勝です」と話していた

RESULT リザルト F4 East

Rank	No.	Name
1	72	金井 亮忠
2	10	加藤 智
3	82	栗原 正之
A2 Class		
1	19	ハンマー伊澤
2	22	池島 実紅

FCR-VITA



初めて富士スピードウェイで行なわれるVITAのレース。ストレートが長く幅の広いこのコースでは、どのような展開になるのか楽しみなカテゴリーだ。予選でトップタイムをマークしたのは68 AlaRossa-Deep01 小西岬 2'04.588、2番手は21 オートルックVITA-01 居村征嗣 2'04.832。朝方はまだ所々濡れていた路面もほぼ乾きドライでの決勝レースではスタート直後からトップ争いが続く、小振りなマシンはこの富士では各所で2台・3台と並んでコーナーに入っていくバトルが繰り広げられ、長いストレートではお互いにスリップを使い合い、順位も目まぐるしく変わる展開となった。10周のレースを制したのは4番グリッドスタートの66 DeepRacing VITA 横山慎太郎だった。2位には68 小西が入り3位に21居村といった結果になった。富士で最初のウィナーとなった66 横山は「ストレートスピードは皆同じくらいでした。途中から居村さんのタイヤがキツそうに見えてきたので自分が速く抜けられていた100Rから狙ってヘアピンで抜けました。スリップも使いあえるので富士のコースはとても楽しいです」

RESULT リザルト FCR-VITA

Rank	No.	Name
1	66	横山 慎太郎
2	68	小西 岬
3	21	居村 征嗣
4	34	松本 直也
5	44	竹上 裕樹
6	95	竹内 伸一

GR86/BRZ Race

GAZOO RACING 86/BRZ RACE 2015

Round 7 REVIEW



豪華なドライバー達が参戦するプロフェッショナルクラス、ここまでのポイントリーダーは昨シーズンのチャンピオン1 KTMS86 谷口信輝、そこに906 AREA86倉敷 阪口良平が追う形になっている。今回予選トップは34 asset・テクノBS86 佐々木雅弘 2'05.367。決勝ではスタートか直後から大混戦が続き、上位8台ほどが団子状態で毎周回ごとに順位が変わる接戦となる。レース中盤でトップに立ったのは17 モルフォ頭文字DサミーK186 織戸学、そこにコンマ差で34佐々木が追いかける。ラストラップで34佐々木が前に出て先にチェッカーを受けた。34佐々木は「楽しかったー！ この週末、オーナーが誕生日だったので、どうしても優勝をプレゼントしたかった。後半路面がドライになってきて織戸さんのタイヤがキツそうになってきたので、もう勝てるころは一つしかないを狙ってました」とコメント



RESULT リザルト Professional

Rank	No.	Name
1	34	佐々木 雅弘
2	17	織戸 学
3	369	平中 克幸
4	1	谷口 信輝
5	557	大西 隆生
6	60	服部 尚貴



クラブマンAレース、こちらはクラブマンクラスすべての予選トップタイムでポールポジションに決まったのは130 ネット青森CHITOSE86 松原怜史 2'07.706、並ぶのは0/100秒差で84 カーウォッチ86ポテンザED 橋本洋平 2'07.707。決勝レースでは1周目から84 橋本と450 N東埼玉T埼玉KND2和光86と13 サミットブレーキ86 土屋潤、50 エムテックス制動屋SSR86 高島登の激しい2位争いが終始続く。その隙に130松原は徐々に差を広げ、10週の決勝でトップチェッカーを受けた。最後まで接戦が続いた2位争いは13 土屋が2位、50 高島が3位という結果となった。レース終了後130松原は「初優勝です！ スタートはちょっと失敗して前に出られてしまったのですが、トップを取り返してからは後ろがバトルしてくれたおかげで逃げられました。プロフェッショナルクラスに出られるようになりたいし、また次戦も頑張ります」とコメント



RESULT リザルト CLUBMAN A RACE

Rank	No.	Name
1	130	松原 怜史
2	13	土屋 潤
3	50	高島 登
4	450	小野田 貴俊
5	74	冥賀 直文
6	305	遠藤 浩二



86/BRZで最初に行なわれたレースはクラブマンBレース。土曜日の予選でポールからのスタートに決まったのは15 MGT F1 86 塚田祐也 2'12.028のタイム。フロントローには48 もらいぼしヒシキレーシング 荒川美恵子 2'12.927で並ぶ。決勝のグリッドに付いた頃には昨夜から降った雨は上がっているものの、路面はまだ所々がウェットな状況。スタート直後はトップ集団はきれいに1コーナーへ入っていったが中盤グループが少々アクシデントで順位は変動している。レース後半になってトップを奪ったのは94 HKYエスカランドμ86 斉藤裕司、その背後には758 カローラ名古屋K-one86 清水寿幸もびったりつけてくる。10週の決勝レースは94 斉藤が優勝、2位に758 清水、3位は175 シティオート86 吉田政美という結果になった。94斉藤は「勝てて良かったです。トップ争いをしていた周りもほとんど同世代。50代にはキツイレースでした」と話してた



RESULT リザルト CLUBMAN B RACE

Rank	No.	Name
1	94	斉藤 裕司
2	758	清水 寿幸
3	175	吉田 政美
4	777	山崎 武司
5	56	古川 道雄
6	15	塚田 祐也

Inter Proto Series Round 3-4 Review

Inter Proto Series
Round 3-4
Gentleman Driver

ジェントルマンクラス予選はポイントリーダーのIPS Eクラス 19 Team Kurosawa Yuke Taniguchiが1'55.934でトップ、Gクラス16 TOMEI SPORT 渡辺久和がそこに続く。CCS-Rトップは52 TEAM CERUMO 前島研一が1'59.225。第1レースの決勝は19 Taniguchiが逃げる形になったが、2番手争いが激戦。19 Taniguchi、37 TOMEI SPORT 畠中修の潤でチェッカーを受けた。IPS Gクラスは3 INGING MOTORSPORT FLYNG RATが優勝。CCS-Rは51 TEAM CERUMO ト部治久が優勝。翌日の第2レースではスタート直後に37畠中が前に出るも4周目に19 Taniguchiが抜き返しそのまま優勝した。IPS Gは3 FLYNG RAT。CCS-Rは51ト部がそれぞれ優勝した。19 Taniguchiは「今回からセッティングを変えてきたけど、金曜日に走れなかった。第2レースは楽しかったです。後2戦この調子で頑張ります」3 FLYNG RATは「抜けなくて残念！でも楽しかった」51 ト部「第1レースはタイヤの選択に成功しました、優勝はやはりいいですね、第2レース、最初はヒヤヒヤしましたが、逃げ切ることができました」と話している

Round 3

IPS-Expert



RESULT リザルト IPS-E

Rank No.	Name
1	19 Yuke Taniguchi
2	37 畠中 修
3	4 AKIRA

IPS-Gentleman



RESULT リザルト IPS-G

Rank No.	Name
1	3 FLYING RAT
2	7 とおる君
3	16 渡辺 久和
4	36 堀口 誠

CCS-R



RESULT リザルト CCS-R

Rank No.	Name
1	51 ト部 治久
2	52 前島 研一
3	10 横井 克一郎
4	5 森木 英司
5	87 疋田 亮

Round 4

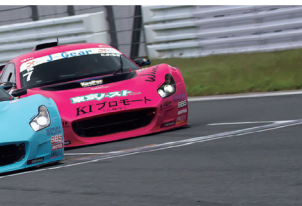
IPS-Expert



RESULT リザルト IPS-E

Rank No.	Name
1	19 Yuke Taniguchi
2	37 畠中 修
3	4 AKIRA

IPS-Gentleman



RESULT リザルト IPS-G

Rank No.	Name
1	3 FLYING RAT
2	16 渡辺 久和
3	7 とおる君
4	36 堀口 誠

CCS-R



RESULT リザルト CCS-R

Rank No.	Name
1	51 ト部 治久
2	52 前島 研一
3	10 横井 克一郎
4	5 森木 英司
5	87 疋田 亮

Inter Proto Series
Round 3-4
Professional Driver



予選トップのタイムを出したのは3 INGING MOTORSPORT 石浦宏明 1'46.834 そこにポイントリーダーの4 RSS 平川亮が1'46.989で続く、CCS-Rは5 NTP RACING NN CCS-R 阪口良平が1'51,882に10 NTP RACING PN CCS-R 新田守男が1'52.081で続く。決勝スタートの頃には路面こそドライだが、小雨が落ちてきていて微妙な天候になってきた。スタートから激しいトップ争い、その後ろでは3位争いも熾烈。ラストラップで4 平川が前にでて、第3戦は終了した。CCS-Rは5 阪口が逃げ切った。第4戦は4 平川と

37 TOMEI MOTOESPORT 中山雄一の激しいトップ争い、ほぼ並んでチェッカーを受ける形になったが4 平川が逃げ切った。CCS-Rも5阪口と10新田のトップ争いの末、5阪口が優勝した。4平川は「予選ではマシンセッティングに苦労したけれど決勝は何とか合わせて上手くいきました。何としても勝ちたかったです」とコメント。5阪口は「ダブルエントリーだったので、あまり乗れなかったけどウェットでもドライでも良いセッティングに持っていてくれた皆様のおかげで勝つことが出来ました」と話してた

Round 3



RESULT リザルト IPS

Rank No.	Name
1	4 平川 亮
2	3 石浦 宏明
3	37 中山 雄一
4	16 Ronnie QUINTARELLI
5	7 坪井 翔
6	19 黒澤 琢弥
7	36 里山 勉

RESULT リザルト CCS-R

Rank No.	Name
1	5 阪口 良平
2	10 新田 守男
3	87 脇阪 薫一
4	51 小林 敬一
5	52 国本 雄資

Round 4



RESULT リザルト IPS

Rank No.	Name
1	4 平川 亮
2	37 中山 雄一
3	3 石浦 宏明
4	7 坪井 翔
5	19 黒澤 琢弥
6	36 里山 勉

RESULT リザルト CCS-R

Rank No.	Name
1	5 阪口 良平
2	10 新田 守男
3	87 脇阪 薫一
4	52 国本 雄資
5	51 小林 敬一